

でわもい

2026
No.60

出羽庄内森林組合
広報



6月6日「やまがた森の感謝祭2026」が鶴岡市いこいの村公園で開催され、
鶴岡緑の少年団と副知事による森づくり宣言が行われました。

目次 -CONTENTS-

- ② 第30回通常総代会
- ③ 総括事項・損益計算書
- ④ 運営の基本方針
- ⑤ ワクワクワークス2026
やまがた森の感謝祭2026
- ⑥ 第2次中期経営計画の結果(1)
- ⑦ 第2次中期経営計画の結果(2)
組合員のための相談会
お知らせ(名義変更、賦課金、
お盆休み、伐採・山林異動届他)
- ⑧ 5月木材市況・おらほの林業人
採用従業員の紹介



第30回 通常総代会

5月28日に出羽庄内国際村において第30回通常総代会を開催しました。今回は、委任状、書面決議を含め159名の総代から出席いただきました。

山本組合長の挨拶の後、来賓者を代表して鶴岡市農林水産部長、庄内町農林課長、庄内森林管理署羽黒森林事務所森林官、庄内総合支庁森林整備課長よりご祝辞を頂戴しました。

議長は、鶴岡地区の富樫栄一氏を選任し、上程された10議案について審議を行いました。全議案とも原案のとおり承認されました。決議された議案は次のとおりです。



第三十回通常総代会提出議案

第一号議案

令和七年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書承認の件

第二号議案

令和八年度事業計画設定の件

第三号議案

令和八年度借入金最高限度決定の件

第四号議案

令和八年度一組合員に対する貸付金最高限度決定の件

第五号議案

令和八年度一組合員に対する債務保証最高限度並びに組合員債務保証最高限度決定の件

第六号議案

令和八年度貸付金の利率最高限度決定の件

第七号議案

令和八年度余裕金預入先決定の件

第八号議案

令和八年度一般賦課金の徴収方法並びに徴収期日決定の件

第九号議案

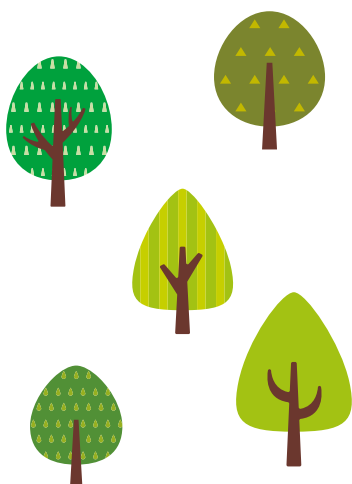
令和八年度認証各種証明料及び手数料決定の件

第一〇号議案

令和八年度役員報酬決定の件

附帯決議事項

本日の決議事項中権利義務に関しない軽微な事項の修正、誤算、誤字の修正及び法令その他に基づいて行政の指示による場合は、必要な字句の修正をすることを理事会に一任するものとする。



総括

事

項

昨年の日本経済は、緩やかな回復基調が続くともに賃上げ率も一昨を上回るなど、明るい動きがみられています。一方、個人消費は食料品などの身近な物の価格が上昇するなど消費動向に影響を及ぼしています。加えて、中東での紛争が経済へ悪影響を及ぼしており今後の経済情勢は見通せない状況が続いています。

自然災害は、昨年二月に岩手県大船渡市で、三月には愛媛県今治市で大規模山林火災が発生しました。また、本年四月にも岩手県大槌町で山林火災が発生し、1,600haを超える山林が焼失しています。これまで長い年月を経て育ててきた山林が一瞬の内に焼失することは耐え難い出来事であり、山林所有者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

また、社会問題化しているクマの出没については鶴岡市管内で約一、二〇件、人身被害は県全体で十一件発生しています。各市町村でも緊急銃猟等、被害の未然防止に取組んでいます。さらに、近年、庄内海岸林を中心に松くい虫被害が拡大しており、昨年は前年の三倍となる三十二万立方の松が被害を受けました。山形県では本年三月に「庄内海岸林再生プロジェクト会議」を発足させ、今後、十年間にわたり松林の再生に取組むこととしています。

一方、林業・木材産業は、令和三年のウッドショックにより木材価格は一時的に上昇しましたが、原油・エネルギー価格の高騰や円安ドル高による燃油価格の高騰等、森林・林業を取り巻く環境は依然厳しい状態が続いています。こうした中、組合では第二次中期経営計画（R3～R7）の最終年度及び組合系統運動（R3～R12）の五年目を迎え総代会で決議した基本方針に基づき各部門の取組を進めました。

はじめに、指導部門では十月に組合員一日研修を開催し高畠町立図書館及び屋内遊戯場「もっくる」を視察研修するとともに浜田広介記念館を見学しました。十一月には鶴岡市湯田川コミュニティセンターにおいて市と共催で「山の活動体験」を開催し、チェンソーの目立てや操作方法を指導するとともに田川カブの収穫を体験しました。また、地域座談会や組合員のための相談会を開催するなど組合員のサービス向上に努めました。さらに、組合員の高齢化や後継者不足から総代の選出が困難となりつつあることから総代定数を二五〇名から三〇〇名としています。

販売部門においては、一般用材は庄内木材流通センター、集成材は協和木材、チップ・バイオマス材は鶴岡バイオマ

ス発電所や渡会電気土木田代工場などそれぞれ出荷しました。また、前年度に引続き、酒田港からの原木輸出にも取組みました。

森林整備部門では、これまで策定した森林経営計画に基づき鶴岡市越中山及び天狗森団地、狩川団地において作業道の開設や搬出間伐等に取組みました。国有林事業においては天狗森国有林等において皆伐、地植え、植林を行うとともに被害が拡大する松くい虫等森林病害虫防除事業にも取組みました。

昨年三月採択を受けた農林中金森林再生基金（農中森力基金）事業については、鶴岡市砂谷から大机にかけて森林調査や予定路線の測量などを行いました。この事業は、やまがた森林と緑の推進機構、森林総合研究所、鶴岡市、森林組合が協力して共同事業団地を作り路網を整備して循環型森林施業のモデルを構築するというものです。山林所有者、関係機関・団体の皆様には引続き事業の推進にご支援、ご協力をお願い申し上げます。

また、森林環境譲与税が全国の市町村に交付されており、鶴岡市、庄内町においても交付金を活用して木材生産を拡大する事業や林業事業体の担い手育成支援事業、さらに、森林経営管理制度の意向調査や森林境界明確化事業などを実施しており、組合としては今後ともこれらの施策に協力していきたいと考えています。

以上の取組みの結果、本年度決算は、事業総収益六三八、七五八千円、計画対比112%、総費用四六六、六二七千円、計画対比103%、事業総利益一七二、一三二千円、計画対比150%、当期剰余金五四、五二六千円となりました。

当期剰余金は、生産コストをはじめとする諸経費が上昇する中ではありましたが、当初計画を上回る結果となりました。これもひとえに、組合員はじめ、国、県、市、町、関係機関団体のご支援、ご指導の賜物であり心より感謝申し上げます。

令和八年度からは「第三次中期経営計画（R8～R12）」がスタートします。国内においては、円安による物価高騰が続いており経済活動の先行きが見通せない状況となっていますが、今後とも組合の経営理念及び経営ビジョンの下、組織の充実強化を図り収益性の向上に努めて参りたいと考えていますので、組合員皆様の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

●令和7年度損益計算書（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

単位：円

科 目	小 計	合 計
I 事業総損益		
1. 収益	638,758,899	
2. 費用	466,627,319	
事業総利益		172,131,580
II 事業管理費		
1. 人件費	69,568,995	
2. 旅費・交通費	2,001,884	
3. 事務費	2,478,686	
4. 業務費	1,030,560	
5. 諸税負担金	1,964,432	
6. 施設費	14,576,785	
7. 雑費	1,710,194	
事業管理費計		93,331,536
事業利益		78,800,044
III 事業外損益		
1. 事業外収益	1,264,441	
2. 事業外費用	729,275	
事業外損益		535,166
経常利益		79,335,210

●貸借対照表（令和8年3月31日現在）

科 目	小 計	合 計
資産の部		
流動資産		420,799,171
固定資産		
有形固定資産	47,089,228	
無形固定資産	562,383	
外部出資	48,406,740	
その他固定資産	138,120	96,196,471
資 産 合 計		516,995,642

科 目	小 計	合 計
IV 特別損益		
1. 特別利益	254,739	
2. 特別損失	5	
特別損益		254,734
税引前当期利益		79,589,944
法人税、住民税及び事業税		25,064,400
当期剰余金		54,525,544
前期繰越剰余金		18,230,635
任意積立金取崩額		0
当期末処分剰余金		72,756,179

【部門別損益】

部 門	収 益	費 用	事業総利益
指 導	13,487,789	8,292,642	5,195,147
販 売	148,861,596	105,327,581	43,534,015
加 工	8,042,092	7,125,498	916,594
森 林 整 備	468,367,422	345,881,598	122,485,824
計	638,758,899	466,627,319	172,131,580

科 目	小 計	合 計
負債の部		
流動負債		104,404,968
固定負債		
退職給付引当金	27,477,410	
役員退任慰労引当金	1,456,249	
リース債務	17,405,839	46,339,498
純資産の部		
出資金	139,349,600	
利益剰余金	220,296,032	
資本準備金	6,605,544	366,251,176
負 債 及 び 純 資 産 合 計		516,995,642

令和八年度 運営の基本方針

本年度は、出羽庄内森林組合が設立されてから三十周年の節目の年となります。また、第三次中期経営計画（R8～R12）の初年度の年となりますが、今年度も新たな経営ビジョンや基本戦略に基づき以下の項目に取組みます。

一、地域の森林管理方針（長期ビジョン）に基づく持続可能な林業経営
二、森林経営計画に基づく計画的な森林整備の推進

三、地域産材の利用促進
四、人材の育成及び確保
五、信頼される組織体制の確立

また、令和三年度に策定した『JForest出羽庄内森林組合ビジョン2030』のスローガン『地域森林の適切な利用・保全と林業経営の更なる発展』の実現に向け、以下の課題に引き続き取組みます。

一、組合員サービスの向上
二、働く人の所得向上・就業環境改善

三、事業拡大・経営の安定化

さらに、森林環境譲与税が各市町村に交付されており鶴岡市、庄内町でもこの財源を基に木材生産を拡大する事業や林業事業体の担い手育成支援事業、森林経営管理制度の意向調査や森林境界明確化事業などを実施しており組合でもこれら事業の推

進に協力していきます。

物価高騰や人材不足など、森林・林業を取巻く環境は一段と厳しさを増していますが、組合組織の充実強化を図り、収益性の向上及び経営の安定化に努めていきたいと考えています。関係機関・団体のご支援・ご指導並びに組合員各位のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

指導部門

一、組合員脱退の未然防止及び賦課金の未納処理を適切に進める。

二、組合賦課金の算定方法について検討を進める。

三、ホームページ及び広報の配布等により広く情報を提供するとともに、地域座談会や研修会を開催し山林への意識拡大を図る。

四、組合員の一日研修視察を実施し、組合員の交流を図るとともに見聞を広める。

五、森林巡視活動と路網点検活動を行い、荒廃森林の解消に努める。

六、森林経営計画を樹立し、提案型集約化施策の推進を図る。

七、人材確保と役員・従業員の資質向上及び労働安全・コンプライアンス意識を高めるため研修会、講習会へ積極的に参加する。

八、組織体制の充実を図るとともに従業員の就業環境を改善し仕事への意欲と意識改革を図り働きがいのある職場づくりに努める。

九、関係行政機関が実施する「森林経営管理制度」の取組みへ協力する。

十、組合員のためのチェーンソー等研修会や相談会を定期的に開催する。

十一、自伐林家が実施する搬出間伐等へ協力する。

十二、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に協力する。

十三、組合員台帳の整理。

販売部門

一、林産事業については、現地調査、情報収集を十分に行い採算に見合う事業を行う。

二、施業の集約化や路網整備を図り、高性能林業機械を活用した低コスト生産に努める。

三、系統や業界等と連携し、適格な市場を把握し適正販売に努める。

四、各種製材工場等への木材供給を行い、更なる地域材の利用拡大に努める。

五、従業員の技術向上を図り、安全作業、低コスト作業に努める。

六、伐採現場の採材方法により単価の高いA B材の搬出量を増やし利益率の向上に努める。

加工部門

一、木造公共施設の建設等、地域材の有効活用を推進する。

二、建設等公共事業へ積極的に参入し、地域材の消費拡大を図る。

三、つるおか住宅活性化ネットワーク等、各団体との連携を図り、事業拡大に努める。

森林整備部門

一、関係機関団体等と連携し各種補助事業を取り入れて森林整備を推進する。特に、農林中央金庫の森林再生基金に基づく「共同施業団地化による路網整備と循環型森林施業の構築」に向け関係機関と連携する。

二、市町と連携して航空レーザー測量データ等を活用した林業専用道や作業道等路網整備を推進する。

三、高性能林業機械等の年間稼働率の向上を図り、コスト削減・安全作業に努める。

四、高性能林業機械の補助事業による導入やリース等の支援制度を活用しコストの低減に努める。

五、伐採跡地の再造林の推進に努める。

六、被害が拡大する庄内海岸林松林の再生に係る関係機関団体と連携して取り組む。

七、購買事業は、組合員のニーズに努め、迅速な対応に努める。

八、新規事業開拓に努め、各事業の拡大を図る。

職業体験会『ワクワクワーク2026』への参加

5月20日、21日中高生に地元企業を知ってもらう職業体験会「ワクワクワーク2026」が鶴岡市立第四中学校及び第一中学校で開催され、鶴岡市の担当者とともに組合も参加しました。森林組合の仕事の紹介や樹木の胸高直径を測る道具（輪尺）の使い方、また、樹高を簡単に測れる道具の作成、さらに、作業現場で使用するヘルメットや防護ズボンなどを身に付けてもらいました。最近、現場で働く従業員を募集しても応募者が非常に少ないという現状ですが、森林・林業の地球温暖化防止に果たす役割は極めて重要で大切な仕事ですので、これらの職業体験を通じて『林業』という仕事に少しでも関心を持ってもらえたら嬉しいです。



森林組合の仕事を紹介



樹高測定を体験



胸高直径の測定を体験



ヘルメット等の装着体験

「やまがた森の感謝祭2026」が開催されました

6月6日、山形県、鶴岡市等が主催する「やまがた森の感謝祭」が開催され組合も参加しました。感謝祭は緑豊かな自然環境に感謝し、県民みんなで支える森づくりを推進するため県内各地で開催されており、今回は鶴岡市千安京田の「いこいの村公園」を会場に緑の少年団、やまがた絆の森づくり参加企業、森林・林業関係者など約350人が集いました。当日は、式典後に参加者全員によりタブノキ、コナラ、カシワ400本が植えられました。近年、庄内海岸林は松くい虫による被害が拡大し、昨年は前年の3倍となる32万立法が枯損しました。県は、「庄内海岸林再生プロジェクト会議」を発足させ荒廃した海岸林を再生し次世代に引き継ぐ森を整備することとしています。組合も関係機関・団体と連携して森づくりに協力していきたいと考えています。



カシワの苗木を植える緑の少年団と参加者

『第2次・中期経営計画』の結果について

令和2年度から取組んだ「第2次・中期経営計画」が昨年度終了したので、その結果を報告します。また、今年度から新たな「第3次・中期経営計画」がスタートしましたので組合員はじめ関係機関・団体の尚一層のご支援・ご協力をお願い致します。

1.部門毎の経過と課題について

(1) 指導部門

森林経営計画の策定面積は、18か所1,628ha、目標の74%となりました。目標を下回った要因は、主に、搬出間伐等森林整備を実施する事業の補助金の減や国・県等が発注する松くい虫防除事業へ現場労働力が割かれたことなどにより計画通り事業が進まなかったことが上げられます。組合員への情報提供は、毎年2月に地域座談会を開催しており、期間中、延べ24回開催し366名の組合員が参加しています。組合員の高齢化に伴い参加者が減少していますが、期間中に発生したコロナ感染症により座談会を中止したことも大きく影響しています。また、年2回の広報「でわもり」の配布や平成31年度に立ち上げたホームページにより組合活動の周知にも努めています。さらに、組合員一日研修は、3年度、4年度はコロナ感染症の影響により中止しましたが、5年度から7年度は最上町、飯豊町、高畠町の森林・林業の取組をそれぞれ視察し延べ200名の組合員が参加しました。また、組合員名簿の整理は、5年以上の賦課金未納者を対象に調査を行い、6年度の総代会において121名の組合員を整理しています。組合員の高齢化や不在地主の増加により脱退者が増えることが予想されますが、今後とも森林整備事業はもとより地域座談会や組合員のための相談会を開催するなど、組合員サービスの向上に努めていきたいと考えています。

(2) 販売・加工部門

松くい虫事業等の請負事業を除いた木材の出荷実績は、山形県森林組合連合会を通じた出荷数量が26,497m³、組合直入が15,935m³ 計42,432m³で、約6割が県森連を通じた出荷となっています。出荷先は、製材用が庄内共販所3,188m³(7.5%)、ラミナ材が羽越木材3,368m³(7.9%)、協和木材3,132m³(7.4%)、鶴岡市あつみ森林組合3,075m³(7.2%)で、チップ・バイオマス材は鶴岡バイオマス4,111m³(9.6%)、最上バイオマス1,330m³(3.1%)、渡会電気土木17,546m³(41.3%)などとなっており、54%がチップ・バイオマス材です。今後は伐採現場毎の採材方法により単価の高いAB材の搬出量を増やし利益率の向上に努める必要があります。また、加工部門は建材等の物価高騰による新築住宅着工や増改築が減少し取扱数量は年間345m³～840m³、金額6,590千円～16,254千円で推移し、利益率も2.3%～11.6%と低迷しています。公共施設への地域木材の積極的な活用や民間施設への有効活用も進めながら森林資源の循環が図られることが重要です。また、朝日製材工場の建物、設備共に老朽化が進んでおり今後の対応が必要です。

(3) 森林整備部門

主な森林整備の実績は、新植(再造林)が133ha、利用間伐が439ha、主伐が26haで、新植が目標の190%、利用間伐が63%、主伐が47%となりました。特に、利用間伐は支援事業補助金が減少していること、主伐は木材需要の減少と木材価格の低迷が影響しています。また、森林作業道は7年度末で69,834mと目標の140%となっていますが、労働生産性は5.86m³/人日と目標の84%であり、6年度に導入したフェラーバンチャ等高性能林業機械の有効活用や航空レーザー測量データを活用した路網整備等、生産コストの縮減に向けたさらなる取組が必要です。なお、新植(再造林)は国有林が114ha民有林が19haと民有林の割合が低く、民有林の主伐・再造林の推進が今後の課題です。さらに、近年の地球温暖化の影響により森林病害虫である松くい虫による被害が庄内海岸林を中心に深刻化しており、その防除対策に多くの労働力が割かれています。今後とも労働力の確保を図り関係機関と連携して対応する必要があると考えています。

2.財務状況について

期間中の経常利益は、6,568千円～79,335千円と落ち込んだ年もありましたが概ね良好な状態となりました。但し、その内訳は森林整備部門の松くい虫防除事業収益により向上しており、本来の搬出間伐等森林整備事業による収益の向上が必要です。今後ともICT等の先端技術を活用して生産性や安全性を向上させ事業利益を確保することが必要と考えています。

3.組織体制について

7年度末の作業技術員は臨時を含めて26人と目標の57%、職員も13人と目標の87%と共に目標に届きませんでした。その主な要因は、転職等により7名が中途退職したこと、また、ハローワークに求人を出しても中々応募者がいないという実態があります。その対策として、期間中に作業技術員の賃金を日給制から月給制への移行や夏季・年末手当の改正等を行っています。労務体制が縮小する中、近年は庄内海岸林の松くい虫被害が大幅に増加し、その防除も他の森林組合や民間企業の協力を得て行っています。今後は、給与、手当等の労働条件をさらに改善して雇用労働者を増やすとともに各種林業資格の取得や安全衛生教育を徹底して組織体制の充実・強化を図り、組合員や関係機関・団体から信頼される組合を構築していきたいと考えています。

組合員のための相談会の開催について

組合では‘組合員のための相談会’を実施しています。今年度も下記の日程で開催しますので、出席される方は事前に住所、氏名、相談内容を組合本所までご連絡願います。

《開催日程及び開催場所》

● 7月	7 / 15 (水)	PM1:30～	組合本所	水沢字山之腰31-1	☎0235-35-2515
● 8月	8 / 3 (月)	PM1:30～	立川出張所	庄内町狩川字堅田20-2	☎0234-56-2020
	8 / 18 (火)	PM1:30～	朝日出張所	下名川字落合220	☎0235-53-2155
● 9月	9 / 1 (火)	PM1:30～	組合本所	● 11月	11 / 2 (月) PM1:30～ 立川出張所
	9 / 15 (火)	PM1:30～	立川出張所		11 / 16 (月) PM1:30～ 朝日出張所
● 10月	10 / 1 (木)	PM1:30～	朝日出張所	● 12月	12 / 1 (火) PM1:30～ 組合本所
	10 / 15 (木)	PM1:30～	組合本所		12 / 15 (火) PM1:30～ 立川出張所

お知らせ

一、組合員名義、山林面積等の変更届について

相続や売買により山林の所有者や所有面積に異動があった場合は、その組合員からの変更手続きが必要となります。

届出用紙は、本・出張所にあります。

また、組合のホームページからもダウンロードできるようにしましたので、必要事項を記入して提出して下さい。

なお、この手続きによる情報は、個人情報保護法により他に流れることはありません。

二、賦課金の納付には、便利な口座振替をお勧めいたします。

ご利用できる金融機関

- ・鶴岡市農協本支所
- ・庄内たがわ農協各支所
- ・山形銀行各支店

手続き用紙は当組合本・出張所と農協各支所にありますのでご利用ください。なお、口座振替分の領収書の発行はいたしませんので、領収書が必要な方は本所までご連絡下さい。今年度の口座振替日は7月31日(金)になります。

三、お盆休みについて

8月13日～17日、お盆休みの為、事務所休業になります。

四、森林の伐採には届出が必要です。

自分の山であっても、森林を伐採するときは、事前に届出をすることが、法律で義務付けられています。伐採届は、伐採を始める90日～30日前までに森林がある市町の役場に森林所有者又は伐採業者が提出してください。

令和8年度 山形県森連木材流通センター 5月市況

単位 円/㎡

木材流通センター			天 童					庄 内				
市 日			第 1389 回 5 月 11 日					第 335 回 5 月 18 日				
樹種	長級(m)	径級(cm)	高値	中値	安値	前回比	備考	高値	中値	安値	前回比	備考
スギ	4.00	36上	—	14,040	—	○	選木	15,120	13,680	11,520	○	選木
〃	〃	30上										
〃	〃	20上	—	13,320	12,240	○		14,200	13,680	12,420	○	
〃	〃	14～18										
〃	〃	13下						—	9,720	8,500	○	
〃	3.65	20上						14,230	14,040	12,600	○	
〃	〃	14～18						—	12,600	10,110	●	
〃	3.00	20上	—	13,680	—	○		13,800	13,320	11,860	○	
〃	〃	14～18						13,320	12,240	9,010	○	
概 要			販売量 37㎡ 買方 2人					販売量 512㎡ 買方 12人				
市 日			第 1390 回 5 月 25 日					第 回 月 日				
樹種	長級(m)	径級(cm)	高値	中値	安値	前回比	備考	高値	中値	安値	前回比	備考
スギ	4.00	36上	21,000	13,680	11,000	●	選木					
〃	〃	30上										
〃	〃	20上	14,040	13,320	11,830	○						
〃	〃	14～18										
〃	〃	13下										
〃	3.65	20上										
〃	〃	14～18										
〃	3.00	20上	—	13,680	—	○						
〃	〃	14～18										
概 要			販売量 225㎡ 買方 10人					販売量 ㎡ 買方 人				

△高 ○保合 ●安

広葉樹市	販売数量	買方	樹種・参考価格（高値）等
令和8年5月27日	87㎡	14人	クリ 4.20m 40cm 41,000円/㎡、サクラ 3.20m 46cm 30,000円/㎡、ナラ 3.00～6.00m 36cm 32,000円/㎡、クロカキ 1.80m 30cm 87,200円/㎡、オニグルミ 2.20m 36cm 36,000円/㎡、キリ 1.90m 26cm 78,120円/㎡、ナラ(薪材) 2.00m程度～ 14,800円/㎡、クスギ 2.00m～ 12,800～13,100円/㎡

(市況概要) 天童共販所

5/27に春季優良原木市を開催。選木材含め、優良材を取りそろえたが、相変わらず「品質が良くても丸太が売れない」状況にあり、非常に厳しい結果となった。

6月以降、虫害や干割れが進む時期になり、更に荷動きが悪くなると想定される。品質劣化の進む前の販売を心掛け、在庫管理を徹底したい。

広葉樹は需要期が過ぎ、高温で品質の劣化が激しく、入札数も減り、安値となっている。

(市況概要) 庄内共販所

5/18に春季優良原木市開催。松くい虫事業の関係で、需要期にも関わらず、出荷数量がまとまらず、集荷に苦戦。特に中目材の不足感が目立つ様相で、価格は横ばいながら、完売となった。引き続き、定尺材の角目・中目材の不足感が続いております。

虫害の時期になりますが、原木不足が続いておりますので、よろしくお願いいたします。

おらほの 林業人

Vol. 21

八幡 勇太郎

(鶴岡市大広)

24歳（林業歴 6年）

●今後の目標

森林組合に入って7年目になります。チェーンソーを使って立木を伐採するなど危険な仕事ですが、安全で効率の良い作業を心掛け、組合員の皆さんから喜ばれる山づくりをしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



私は鶴岡の自然を守ることに貢献したくこの仕事を選びました。組合の現場作業や県内で実施される研修を通じて林業の基本的な知識や技術を身につけていき、それらを安全に行動に移せるように頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



秋山 凛

(鶴岡市大山三丁目)
25歳

新採従業員紹介